

第95回箱根駅伝

序盤の劣勢挽回できず20位
新チームで
再起の一步を



往路最終区(5区)を担った主将の服部潤哉



9区・中原佑仁



4区・西嶋雄伸

初の2年連続シード権獲得ならず――。第95回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)は1月2、3日に行われた。2年連続15回目の出場となった男子駅伝部は、過去最高の「5位」の目標を掲げて臨んだが、序盤からの劣勢を挽回できず20位で終わった。しかし、最終10区で大里凌央(経営2)が区間4位の力走で気を吐いた。「最強への挑戦」はまだ、道半ば。新チームは次のシーズン、そして秋の箱根予選会に向けて再起の一步を歩みだす。

「最強への挑戦」道半ば

1区に起用されたのは安定感が出てきた鈴木勝彦(経営4)だったが、終盤に遅れて先頭とは1分20秒差、16位でエースの金子元氣(経営4)に襷をつないだ。金子は本来の走りが見られず、留学生ら他校のエースに抜かれて19位に順位を落とす。3区・中島公平(経営4)、4区・西嶋雄伸(経営3)も浮上できず、主将の服部潤哉(経営4)へ。昨年は区間7位で4人抜きを見せた服部だが、今回は終始単独走のレース。区間10位だったものの、順位はそのまま19位で往路を終えた。

復路はトップから10分後の一斉スタート。6区はルーキーの松尾鴻雅(経営1)だったが、区間21位と苦しい走りとなり、箱根初出場の7区の雲井峻太(経営2)に襷を渡した。雲井も本来の走りが

見られず、8区の大石巧(経営4)に。前回区間4位の大石も区間21位と苦しい走りで、9区の中原佑仁(経営3)は繰り上げスタートとなった。10区も繰り上げスタートとなったが、今シーズン急成長した大里凌央が、区間4位の力走で一斉スタート組ではトップでゴールし、これからにつなげる城西大学の意地を見せた。

出雲駅伝と全日本駅伝とともに8位入賞し、過去最高の5位を目標に臨んだ今大会。終始流れに乗れず、本来の力を出し切れないまま、総合タイム11時間19分57秒の総合20位でレースを終えた。

今大会を糧にした男子駅伝部の再出発が始まる。オリンピックの来年の大手町のスタートラインに立つことを目指して。

【君島麻志

区間4位の力走でゴールする10区・大里凌央

報告会から

来年度に向け仕切り直し



報告会後の集合写真

■小野正人・男子駅伝部部長
各地で熱い声援をいただき本当にありがとうございました。今年度は出雲、全日本と手堅い走りをしており、最後の箱根も期待していましたが、残念ながら結果がついてきませんでした。ことわざ通り「好事魔多し」ということかと思っております。また、昨年12月23日の休養日に外出した部員の転落事故が起こり、各方面で心配をおかけしました。男子駅伝部、大学として学生生活における安全管理についてもきちんと教育をしていかなければならないと思っております。城西大学駅伝部は間もなく創部20年目を迎えるように思います。これから真の強豪校になるには皆様の力が必要だと思っております。今後変わらぬ、彼らを応援していただきたいと思っております。

■榎部静二監督
残念ながら目標5位を大きく外れることになりました。1年間積み上げたものが崩れるのは、あっという間だなと運営管理から見えていました。どんな状況下でも、今回は序盤から劣勢になった時点で強さというものが、我々はまだ十分ではなかったと感じています。足りなかった部分を謙虚に受け止めて、これらにつなげられればと思っています。城西大学駅伝部は間もなく創部20年目を迎えるように思います。これから真の強豪校になるには皆様の力が必要だと思っております。今後変わらぬ、彼らを応援していただきたいと思っております。

総合成績			歴代成績		
総合20位	11時間19分57秒	第80回	総合19位	11時間42分15秒	
《往路》19位	5時間40分10秒	第81回	総合15位	11時間22分49秒	
《復路》18位	5時間39分47秒	第82回	総合11位	11時間16分10秒	
		第83回	総合11位	11時間20分50秒	
		第84回	総合11位	11時間20分19秒	
		第85回	途中棄権		
		第86回	総合6位	11時間17分53秒	
		第87回	総合11位	11時間13分26秒	
		第88回	総合6位	11時間10分17秒	
		第89回	途中棄権		
		第90回	総合19位	11時間25分42秒	
		第91回	総合7位	11時間8分15秒	
		第92回	総合12位	11時間20分06秒	
		第93回	出場なし		
		第94回	総合7位	11時間12分12秒	
		第95回	総合20位	11時間19分57秒	

■服部潤哉主将
皆さんの応援のおかげでこれ以上ないというぐらい全力で走り切ることができました。それにおいては心残りはありませんが、後輩に箱根のシード権を残してあげられなかったことが、一番の悔しさです。これを機に後輩たちは成長していくと思っておりますので、後輩たちの応援をよろしくお願いします。

■白幡晶学長
部長や監督からもありましたが、城西大学駅伝部がこのまま終わることは絶対ありえないと思っております。エントリーされなかった選手たちの中には、将来、確実に活躍する選手が何人もいると聞いています。日ごろの選手たちの努力はずさまじいものがあるとも聞いています。必ずや来年、大きな成果を上げて戻ってきてくれるものと思っております。

◀1面から続き

出場選手コメント

第95回箱根駅伝

1年目でこの経験ができたのは大きかったと思います。来年はまた箱根に戻ってきて勝負できるようにしたいです。

7区・雲井峻太(経営2) 自分の思うような走りが全くできませんでした。これからは主力としてチームを引っ張り、また一から練習していきたいと思っています。

1区・鈴木勝彦(経営4) 区間16位と流れを作る仕事をできませんでした。悔しいです。この結果としっかり向き合って、自分に足りないものを補う努力をしていき、次のシーズンでいきたいと思います。

2区・金子元氣(経営4) 最後の最後まで自分の走りが出来ず、悔しい結果となりました。自分の弱さを感じる試合だったので、今後の競技生活に生きるようにしていきたいと思っています。

3区・中島公平(経営4) 去年と同じ区間ということもあり、流れを変える走りを出し切ることが出来ませんでした。

4区・西嶋雄伸(経営3) 総合5位、区間5位を狙っていたので、それに届かなくてとても悔しい駅伝となりました。この結果をバネに箱根駅伝で勝負できるチームを作り上げていきたいです。

6区・松尾鴻雅(経営1) 初めての箱根駅伝は苦しいものとなりました。しかし



10区・大里凌央(経営2) チームとしては悔しい結果となりましたが、個人としては来年につながる良い経験だったので、成長の糧にしていきたいと思っています。

8区・大石 巧(経営4) 最後の箱根駅伝はとても苦しい結果に終わってしまいました。この悔しさをこれからの競技生活で必ず返したいと思っています。

9区・中原佑仁(経営3) 昨年の悔しさを晴らすべく挑んだのですが、またも悔しい結果となりました。あと1年チャンスがあるので、来年こそは個人も総合も納得のいく結果を出せるよう努力したいと思っています。

富士山女子駅伝

目標クリアし11位

2区・上田 最後のレースで6人抜き 後半区間でも順位3つ上げる

2018全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)は昨年12月30日、静岡県富士市で7区間43・4キロのコースで開かれた。女子駅伝部は総合2時間29分59秒で前回大会と同じ11位。過去最高順位の8位入賞はかなわなかったが、目標の12位をクリアした。

1区は今シーズン駅伝デビューをした今さつき(現代政策3)の富士市で7区間43・4キロのコースで開かれた。女子駅伝部は総合2時間29分59秒で前回大会と同じ11位。過去最高順位の8位入賞はかなわなかったが、目標の12位をクリアした。

14位で三ツ木から襷を受けた佐光菜々子(医療栄養3)は区間10位の力で順位を1つ上げ、さらにアンカーの小笠原晴季(経営3)が2人を抜いて11位でゴールテープを切った。今回走った7人のうち、上田を除く6人が残る新チーム。来シーズンに期待したい。

2018全日本大学女子選抜駅伝競走(富士山女子駅伝)は昨年12月30日、静岡県富士市で7区間43・4キロのコースで開かれた。女子駅伝部は総合2時間29分59秒で前回大会と同じ11位。過去最高順位の8位入賞はかなわなかったが、目標の12位をクリアした。

1区は今シーズン駅伝デビューをした今さつき(現代政策3)の富士市で7区間43・4キロのコースで開かれた。女子駅伝部は総合2時間29分59秒で前回大会と同じ11位。過去最高順位の8位入賞はかなわなかったが、目標の12位をクリアした。

1区(4・1*区)	今さつき(現代政策3)	13分46秒(区間20位)
2区(6・8*区)	上田 未奈(経済4)	21分34秒(区間6位)
3区(3・3*区)	岡村 未歩(現代政策2)	10分42秒(区間12位)
4区(4・4*区)	籠谷 有希(現代政策2)	15分00秒(区間10位)
5区(10・5*区)	三ツ木 桃香(現代政策3)	37分01秒(区間15位)
6区(6・0*区)	佐光 菜々子(医療栄養3)	20分49秒(区間10位)
7区(8・3*区)	小笠原 晴季(経営3)	31分07秒(区間12位)

1区は今シーズン駅伝デビューをした今さつき(現代政策3)の富士市で7区間43・4キロのコースで開かれた。女子駅伝部は総合2時間29分59秒で前回大会と同じ11位。過去最高順位の8位入賞はかなわなかったが、目標の12位をクリアした。



1区・今さつきから2区・上田未奈へ襷渡し=月刊陸上競技提供

選手コメント 後輩たちが着実に成長している(上)

1区・今さつき(現代政策3) 初めての1区。頑張って坂を上りきるまでは集団につけたものの、その後の切り替えについていけず、区間20位で2区につなげてしまいました。チームのみんなに大きな負担をかけてしまい反省しています。来年は一日一日の練習にかける思いを大事にし、1秒にこだわって練習を積んでいこうと思います。

2区・上田未奈(経済4) 城西大学の黄色のユニフォームを着て出る最後の駅伝。結果を残して支えてきてくださった方に恩返ししたい。その強い思いを持ち、8位入賞を目指して臨みました。結果を残すことは出来ませんでした。後から追っていくという難しいレース展開の中で着実に成長している後輩たちを見て、きっと彼女たちなら次はやってくれと確信しました。

3区・岡村未歩(現代政策2) チーム目標の8位入賞はかなわず、自分も最低限の走りにはなってしまいました。個人としては少し心えのつかめる走りがありました。来年に向けてさらに成長し応援して下さる方々に結果で恩返しができるよう、また上級生になるので、その自覚を持って練習に取り組んでいきます。

4区・籠谷有希(現代政策2) 大学初の駅伝。やっと走れるチャンスをつかむことができ、これまでの色々な思いと、支えてくださった方々に感謝の思いを力に最低限の走りではなかったと思います。しかし自分の目標タイムもチーム目

標も達成できず、悔しさも残りました。来年はしっかりと勝負できる力をつけていけるように頑張ります。

5区・三ツ木桃香(現代政策3) 全日本の14位から11位と順位を上げることができ、チームとしては前進することができました。個人としては課題の残る走りとなってしまいました。この悔しさを忘れずに来年は最終学年としての新たなスタートを切りしたいと思います。

6区・佐光菜々子(医療栄養3) 沿道での力強い応援、本当に力になりました。今回は一番良い準備をして臨むことができた。この悔しさを忘れずに、新体制をより良いものにするための糧にしていきたいと思っています。

7区・小笠原晴季(経営3) アンカー区間で沿道の応援が自分の力になったこと、もっと強い選手になりたい、上を目指したいという気持ち

赤羽周平監督コメント

上を目指して一歩一歩前進 全日本以降の約2カ月間、選手、マネージャー、部員一人一人が非常に意識の高い取り組みをしてくれ、とても良い雰囲気でもって大会を迎えることができていたと思います。8位入賞は達成できる可能性は十分ありました。11位という結果に終わった原因は、7人の選手たちが練習で準備してきたものを100%の精度で発揮できなかった点にあります。この課題は今後、学生たちとともに克服していきたいと思っています。4月の新体制スタートから1年に満たない期間で、部員たちは競技力も意識も大きな成長や変化を見せてくれました。2019年の新チームは、さらに上を目指して一歩一歩前進して参ります。

記者募集

記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験がある職員が取材・書き方を基本から指導します。留学生も「学生記者」として活躍しています。興味がある学生、やる気がある学生、大歓迎です。写真、イラスト、漫画などで協力してくれる学生もぜひ参加してください。

連絡はこちらまで j-sports@josai.ac.jp

取材スタッフ

松岡 遼史(薬学部6年)	西村健太郎(薬学部6年)
巻幡 仁美(薬学部6年)	本多 里菜(薬学部5年)
君島 麻未(経営学部2年)	宝蔵寺佑樹(現代政策学部2年)
傳法谷佑樹(現代政策学部2年)	石川 慧(現代政策学部2年)
西村 太郎(現代政策学部2年)	

アドバイザー

知見寺美紀(2014年度卒業)	吉田 美咲(2015年度卒業)
高桑 麗美(2017年度卒業)	

Jスポ フェイスブックはこちら <http://www.facebook.com/JOSAISPORTS>